



メッセージを伝えた！児童集会

7月8日(水)の5限目に全校児童が体育館に集まり、7月の児童集会が行われました。前に並んで発表するのは代表委員会や各委員会のメンバーで、司会も含めて子どもたちだけで進めていくのが児童集会です。

最初に、代表委員会から「ともだち」という本の読み聞かせとその感想の発表がありました。その後、体育委員会、飼育委員会、広報委員会、児童会から仕事内容やお願いなどについて、クイズも交えながら発表がありました。みんな練習の成果を出して、大きな声で堂々と発表ができました。

発表する人も聞く人も楽しく取り組めた1時間でした。このような機会を通して、自分の言いたいことを伝える力、相手の思いを受け止めるための聞く力が、上級生から下級生に受け継がれていくのだと思います。



PTA文化交流部研修

親子で和菓子を作ったよ！



7月12日(日)に、宝松堂の河合さんを講師とするPTA行事『親子で和菓子を作ろう』が家庭科室で行われ、たくさんの親子でにぎわいました。

参加者は、材料の重さを慎重にはかったり、混ぜ合わせたり、手で団子の形にしたりして、蒸しまんじゅうを作り、おいしくいただきました。

河合さんは、「手でふれて、和菓子の生の感触を体験してほしい」とおっしゃっていました。



とうもろこしの皮をむいたよ！



7月7日(火)の5限目、2Aの教室で、栄養教諭の鈴木先生による「とうもろこしの皮むき体験」の授業がありました。

「とうもろこしのひげの数は、つぶの数と同じだよ」などと教えてもらいながら、上手に皮をむき、ひげをとりました。

2年生が皮をむいたとうもろこしは、給食調理員さんに茹でていただいて、翌日の給食に出ました。とてもおいしかったです。



熱中症に注意!!



左の写真は、保健室前の掲示物です。健康委員会の子どもたちと養護の森脇先生が「熱中症」にならないようにどうするか、わかりやすくまとめてくれました。

暑い夏、屋外では帽子をかぶる、十分に水分をとるなど、熱中症にならないように体調に気をつけながら過ごしましょう。



《お願い》 赤白帽と上靴の記名について、指導上、学校全体で記名場所を指定していますのでご協力ください。

- ・赤白帽は、左側の表と裏に学年を書かずに、記名してください。
- ・上靴は、甲の部分とかかと部分に学年を書かずに、記名してください。かかと部分は苗字だけでも構いません。

おはよう！ またあした！ おやまだっ子通信 やったあ！ だいじょうぶ？



小山田小学校長

【問題】

たか子さんは、おつかいに行きます。トマトを7個買います。お店では、トマトを次のように売っていました。

1個入りパック…100円 2個入りパック…180円 3個入りパック…270円

トマト7個の代金が最も安くなる買い方を、下の①から④までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その買い方をしたときのトマト7個の代金を書きましょう。

- ① 1個入りパックを7つ買う ② 2個入りパックを3つと1個入りパックを1つ買う
③ 2個入りパックを2つと3個入りパックを1つ買う ④ 3個入りパックを2つと1個入りパックを1つ買う。

生活場面で活用する力～全国学力・学習状況調査より～



上の問題は、4月21日(火)に6年生対象に行われた「全国学力・学習状況調査(以下、「学調」)の算数B問題で出たものです。「学調」は、全国の子どもの学力や学習状況を把握・分析し、教育の改善を図るために、小学校6年生と中学校3年生を対象に日本全国で行われます。

主として「知識」に関するA問題と、主として「活用」に関するB問題があります。簡単に言えば、基礎基本のAと応用のBということです。

6年生の子どもたちは、1日かけて「国語A」「算数A」「国語B」「算数B」「理科」の問題に取り組みました(結果が届きましたら、後日、全体的な傾向と考察をお伝えする予定です)。

「学調」では、これまでに習った基礎基本の定着を確かめるだけでなく、それを生活場面で活用する力や、長文を読んで、必要な情報を確かめながら問題を解決していく力が求められます。何を問われているのかを読み取って、文章にまとめる記述式の問題もありました。

上の問題の場合、1個パックを7つ買って700円払ってもいいわけですが、ちょっとでも安く買えるように工夫できないか、上手な買い物はできないかと頭をはたらかせることが、実生活においては大切なわけです。②は640円 ③は630円 ④は640円となり、わずか10円の違いですが、③の方法が一番お買い得ということになります。たかが10円、されど10円です。計算が簡単だからと、①を選ぶと70円も買い物損?をすることになります。

買い物など実生活の中で、数字にふれる機会はたくさんあります。日頃から、学んだ知識を活用しようとするのが大切だと思います。



長い休みにしかできないことに挑戦!

長い夏休みがやってきます。先生から夏の課題が出ることと思います。

子どもたちには自由に使える時間がたっぷりと思うので、普段やりたいと思ってもなかなか取り組めないでいることに、ぜひチャレンジしてほしいと思います。

ところで、皆さんは、右の写真の生き物を見たことがありますか？

ちょっと苦手な人もいるかもしれませんが、トンボによく似たウスバカゲロウという昆虫の幼虫で、アリジゴクというおそろしい?名前がついています。1～2cmの大きさで、大きなあごが特徴です。サラサラな砂にすり鉢状のくぼみを掘って、その底でじっと待ち構えていて、迷い込んで落ちてきたアリなどを捕まえて食します。

私が小学生の時、夏休みに母の実家の近くのお寺の鐘つき堂で、アリジゴクのくぼみを見つけ、夢中になりました。生きるためとはいえ、必死で逃げようともがくアリに容赦なく砂をかける姿に、小さな昆虫の世界の厳しさを感じて、時間を忘れて見入っていました。手に取ると、後ずさりする愛嬌のある動きにも興味を感じました。

さっそく砂ごと家に持ち帰り、自由研究に取り組みました。体のつくりを調べたり、くぼみの掘り方などを観察したりしました。

大人になった今でも、あの夏の思い出はきのうのこのように覚えています。(森本)

